



三国中学校だより

【校訓】誠心 自主 創造

— 自ら想像し、考え、行動する生徒の育成—

合言葉：進取果敢



小郡市立三国中学校

第 22 号

令和8年1月8日発行

文責 校長 米倉佳美

3 学期が始まりました！～飛躍の1年になることを願って～

みなさん、あけましておめでとうございます。冬休みはどのように過ごしましたか。家族との時間を大切にしたり、部活動に励んだ人、そして目標に向けて準備を進めた人、さまざまな過ごし方があったことと思います。2026年の幕開けとともに、今日こうして新たな気持ちでみなさんと3学期のスタートを迎えることができたことを心から嬉しく思います。始業式では、私から次のような話をしました。



冬休みを迎える前の終業式で、「自分が知りたいこと・解決したいこと・挑戦したいことなど、『自分の問い』を一つ決めてみてください。小さなことで構いません」と投げかけました。みなさんは、その『自分の問い』とどのように向き合ったでしょうか。

実は私自身も、みなさんにお話ししたからには、『自分の問い』に向き合ってみようと思い、冬休みに一つ挑戦をしました。

それは、自宅の網戸の張り替えです。我が家の網戸は25年もの間、雨風に耐えてきましたが、約半年くらい前から傷みが目立つようになり、その機能も果たせない状態になっていました。

以前から「自分にできるのだろうか」「どうすればうまく張り替えられるのか」と先延ばしにしていたのですが、今回、思い切って道具をそろえ、動画や説明書を見ながら挑戦してみることにしたのです。最初はうまくいかず、網がたるんだり、枠にはめるゴムが外れたりして失敗の連続でした。しかし、何度かやり直すうちにコツがつかめ、最後には自分の力で張り替えることができました。

小さな挑戦でしたが、やればできる、失敗しても工夫すれば前に進めるという実感を得ることができ、私に大きな達成感をもたらしました。

冬休み中には、日本中を沸かせた大きなニュースもありました。その一つに、青山学院大学が箱根駅伝で大会新記録を樹立し、3年連続9度目の総合優勝を果たしたことがありました。

その中でも、アンカーを務めた折田 壮太（おりた そうた）さんの走りは、多くの人の心を動かしました。折田さんは高校時代から期待されるランナーでしたが、大学では度重なる怪我や体調不良に苦しみ、思うように走れない日々が続きました。想定した走りができない自分に虚しさを抱き、家族に「帰りたい」と伝えたこともあるほど落ち込んだ時期もあったといいます。しかし、折れそうな心を救ったのは、仲間や夢舞台の存在だったそうです。信頼できる仲間とのつながりがエネルギーとなり、目標である「箱根駅伝」という夢舞台が折田さんを支え続けたのです。地道な練習を積み重ね、そして今年、ついに箱根駅伝のアンカーとして、チームの優勝に大きく貢献しました。

目標を持って挑戦し、逆境を力に変える「進取果敢」の精神の大切さを、折田さんの姿から学ぶことができると思います。

3学期は、一年間のまとめであると同時に、次の学年への助走期間です。みなさん一人ひとりが『自分の問い』を持ち続け、「進取果敢」の精神で新しい自分に出会える学期にしてほしいと思っています。今日からまた、ともに前進していきましょう。



花壇の花も元気に咲いています！

三国サミット開催 ～生徒会拡大執行部の子どもたちと学校運営協議会のみなさまとの熱議～

冬休みの初日 12月25日（木）に、生徒会拡大執行部の子どもたちと学校運営協議会のみなさまによる、毎年恒例の「三国サミット」が開催されました。熱議のテーマは「情報機器（スマートフォン・タブレット等）の使い方についての意見交換を通して、人と人とのつながりを考える」でした。久野先生からテーマに関する講話と説明の後、8つのグループに分かれて協議を行いました。参加していただいた学校運営協議会の方々から、「自分の考えをしっかりとっていますね」「生徒会のみなさんはさすが学校のリーダーですね」などの感想をいただきました。また、生徒会拡大執行部のみなさんの熱心な姿から、今後の三国中のさらなる発展を期待してありました。

学校運営協議会のみなさま、年末の大変お忙しい中、「三国サミット」へご参加いただきましたこと、心より感謝申し上げます。



生徒会が動き始めました！ ～すべての人が輝ける学校に～

冬休み中の1月6日（火）・7（水）に、生徒会拡大執行部の冬休みリーダー研修会が行われました。この2日間では、どんな三国中学校にしたいかについての議論、3学期の活動内容の提案、新入生説明会の準備等を行いました。

先生からは合唱の取組についての講話をしてもらい、自分たちが中心となって取組を進め充実させていこうという気持ちを高めました。私からは「三国中学校のリーダーとして～生徒会のみなさんに期待すること～」のテーマで話をしました。三国中をこんな学校にしたいという理想を掲げ課題を見出したのであれば、議論を重ねながら解決に近づけていく「試行錯誤」、仲間の良いところを見つける「美点凝視」、仲間の考えを肯定的に聞き自分から学ぶ姿勢をもつ大切さについて伝えました。

3学期からは、生徒会拡大執行部が学校の要となります。自発的、自治的な活動を展開していかけてくれることを願っています。

